

## 延岡市第三セクター等経営状況および点検評価結果報告書

1 作成基準日	令和5年6月19日	作成担当課室	総合福祉課	電話番号	22-7016(内線2606)					
2 名称等	名称	株式会社 ヘルストピア延岡		代表者	代表取締役社長 読谷山 洋司					
	所在地	延岡市長浜町3丁目1954番地2		電話番号	0982-34-1111					
	設立年月日	平成5年4月6日		法人番号	3500-01-006998					
3 資本金	100,000	千円(市出資額: 65,000 千円)	(出資割合: 65 %)							
4 設立目的	延岡市の所有する余熱利用健康施設ヘルストピア延岡の管理業務及び運営業務を受託することを目的とする。									
5 事業(業務)内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>延岡市の所有する余熱利用健康施設ヘルストピア延岡の管理業務及び運営業務</li> <li>飲食物、その他の物品の販売施設の設置及び運営に関する事業。</li> <li>各種イベントの企画及び運営業務。</li> </ul>									
6 役員数および給与の状況	【役員】	総数	うち市職員・退職者数	役員報酬総額(千円)・R4年度	【正職員等】	総数	うち市職員・退職者数	平均年齢	給与・賞与総額(千円)・R4年度	
	役員	8	1	0	正職員	5	0	54.8	19,620	
7 財務状況	貸借対照表	項目	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	項目	金額(千円)		
			R2年度	R3年度	R4年度			R2年度	R3年度	R4年度
		資産合計	44,859	58,732	64,938		経常収益	125,151	156,010	159,411
		負債合計	41,067	45,376	44,384		うち市からの補助金・委託料	58,708	78,663	69,260
		純資産合計	3,793	13,356	20,554		経常費用	145,215	146,237	152,005
		利益剰余金	△ 96,208	△ 86,644	△ 79,446		経常利益(損失)	△ 20,064	9,773	7,406
							当期利益(損失)	△ 20,409	9,564	7,198
				当期利益(減価償却前)	△ 18,822	11,363	9,054			
8 第三セクター等経営状況チェック表による予備的診断評価	B	A	経営努力をいっつつ事業は継続							
		B	事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要							
		C	深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃を含めた検討が必要							
9 第三セクターへの関与の状況	(1)財政的関与									
	項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)					
		R2年度	R3年度	R4年度						
	①	運営補助金	0	0	0					
	②	①以外の補助金	0	0	0					
	③	指定管理料	58,708	78,663	69,260	ヘルストピア延岡の管理運営 ※指定管理料は税込みの金額				
	④	事業委託料	0	0	0					
	⑤	税の減免額	0	0	0					
	⑥	短期貸付金残高	0	0	0					
	⑦	長期貸付金残高	0	0	0					
⑧	その他	0	0	0						
(2)人的支援										
<人的支援の内容>										
10 施設利用者等の推移	施設名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
	温浴施設	215,119	165,431	177,852	86,973	118,379	130,684			
	プール施設	46,313	56,290	57,491	13,312	26,966	34,006			
	両方利用	11,502	13,352	14,850	3,948	6,811	8,783			
11 大規模修繕等の計画	現在、大規模修繕等の計画は無いが、R3年度下半期から緊急の修繕が増えてきている。令和4年度は5～6月に給湯管破裂による臨時休館が2度あったことを受け、給湯管・給水管の漏水調査や1階の配管更新工事を行った。配管だけでなく、他の設備・機械も老朽化が進んでいるため、令和5年度は施設全体の設備等の調査・分析を行い、長期修繕計画の検討・作成を行うこととしている。									
12 今後の取組み等に関する特記事項(所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルストピア延岡ビジョン策定検討委員会において示された「ヘルストピア延岡の今後のあり方と進むべき方向について」を受けて経営改善に取り組んでいる。令和4年度は、2階空きスペースを活用したフィットネスジム等の開設に向け公募を行ったが応募者が基準を満たさず業者が決まらなかった。2階空きスペースについては引き続き、健康づくりや介護予防などを目的とした運動プログラムを含めた活用方法を検討している。その他の経営改善策として、フロント業務の効率化を目的に令和5年4月1日から企業助成券の金額を500円に統一、客単価向上のため令和5年1月1日から会員特典の見直し(10回利用したら1回無料を30回利用したら1回無料にした。)を行った。</li> <li>令和5年度は入館者増を図るため、季節ごとのイベントや開館30周年に向けた記念イベントを検討している。また、浴場・プールの営業時間見直し検討や職員の意識改革、サービス等の充実に努め経営改善を図る。今後も、施設の安全管理を最優先に取り組みながら、経営の安定化を図る。</li> <li>開館より30年を迎え、設備等の老朽化が進んでいるため、施設全体の修繕箇所を調査し、施設のあり方を検討するとともに長寿命化に向けて計画的な修繕を施す必要がある。</li> <li>R5年度から借入金の返済を開始する。</li> </ul>									